

令和3年度
学校だより
12月号

さざなみ

奄美市立伊津部小学校
やるならなるでしゃんとやれ
みんな良くなれ伊津部の子

もうすぐ冬休みです。日頃できない体験を！

校長 山田 吉夫

奄美も冬らしい寒さが到来してきた今日この頃ですが、伊津部小学校では、駐車場のジニアの花が最後の力を振り絞って、まだ咲き続けています。2学期も残すところわずかとなり、子供たちも最後のひと踏ん張りというところです。

さて、「原体験」という言葉を御存知でしょうか。辞書では、「その人の人格形成や、行動の方向付けに、知らず知らずのうちに影響を及ぼしている幼少期の体験」と説明されています。

どのような体験かと申しますと、味覚（あじ）や嗅覚（におい）、触覚（肌触り）などの感覚を中心に、視覚（見る）、聴覚（聞く）などの全ての感覚を重視した直接体験です。

学校の教室での学びは、感覚だけで捉えれば、視覚（見る）と聴覚（聞く）を中心とした学びと言えます。それに比べて野外での直接体験は、物に触れたときの温かさや肌触り、匂いなどが、季節や場所、出来事などの映像と一緒にまるごと記憶されるものです。ですから、「思い出」として記憶に残りやすいと言えます。

今年の秋頃から、伊津部小でもたくさん咲いていた花の中に、サルビアがあります。赤い花びらから少し飛び出している花を抜いて、蜜を吸う子供たちがいました。多くの大人の方々も花の名前は覚えていないけど、甘い蜜が吸えるということは、よく知っていました。おそらく、幼少期における原体験がしっかり記憶に残っているのだらうと感じました。

2学期は、修学旅行があり、6年生が知覧や鹿児島市の町や施設を見学しました。直接、その場で見て、触れて、感じたことは、きっと大人になっても「思い出」として記憶に留まり続けることでしょう。コロナ禍で直接体験による学習が難しくなっていますが、少しでも多くの貴重な体験ができるように、教育活動を充実させていきたいと思ひます。

まもなく、冬休みになりますが、年末の大掃除やお正月の準備など、日頃できない体験をぜひ、子供たちに経験させてみてはいかがでしょうか。



花づくり・花いっぱい運動コンクール最優秀賞！！

毎年、奄美市では、「花づくり・花いっぱい運動コンクール」を行っています。奄美市にある小・中学校及び公立幼稚園を対象とした取組ですが、今年度、伊津部小学校は最優秀賞を獲得しました。おそらくではありますが、伊津部小に残っている資料をたどる限り、初の快挙だと思います。

学校に来られる方や保護者アンケートでも、花の称賛のお言葉をたくさん頂戴しておりました。コンクールのための花作りではないですが、受賞は、頑張った花のお世話をした子供たちにとって、大きな励みになると思ひます。これからも、子供たちと共に、花を育てながら、人を育てていきたいと思ひます。



☆ 人権月間 ☆

12月は人権月間でした。学校では、人権同和教育についての正しい知識と理解を深め、差別や偏見をなくしていく態度を養うために、様々な取組を行いました。

☆人権教室

毎年、1・3・5年は人権擁護委員をお招きして授業を行っています。2・4・6年は、各学級で人権をテーマとした授業を行いました。それぞれの学年のテーマに対して、真剣に考える姿がありました。

☆人権集会

11月30日の朝活動で、低・中・高学年に分かれて人権集会を行いました。

☆人権の花運動閉校式

12月11日(土)の朝活動で、全児童が体育館に集まり(2年ぶり?!), 閉校式を行いました。式では感謝状もいただきました。



持久走大会

12月2日(木)に持久走大会を行いました。たくさんのご声援ありがとうございました。多くの子供たちが、自己ベストを更新したようです。この持久走の取組は、その日だけ頑張っても結果は伴いません。この日を迎えるまでの子供たちの努力が実を結んだのだと思います。頑張った子供たちをぜひ称賛してあげてください。



☆お知らせ☆

◎ 新型コロナウイルス感染症予防対策の継続について

奄美大島の警戒レベルは現在レベル2です。新規感染者がいない状況は続いています。年末年始に人の動きが活発になること、及び、新たな変異株の出現もあり、学校としては3学期スタート時の状況を心配しているところです。つきましては、**マスク着用・三密を避ける・こまめに換気**を冬休み期間中も続けていただきますようよろしくお願い致します。



本年は大変お世話になりました。
来年もよろしくお願い致します。
よい年をお迎えください。

